

数学通論 第Ⅲ巻

目次

第10章 素数 (カ・カ・マルジャニシヴィリ)

- § 1. 素数論では何をどう研究するか……………717
- § 2. 素数に関する問題はどうか研究されたか……………723
- § 3. チェビシヨフの方法について……………733
- § 4. ヴィノグラードフの方法について……………741
- § 5. 整数を二つの2乗和に分解すること。
複素整数……………752

第11章 確率論 (ア・エヌ・コルモゴロフ)

- § 1. 確率的合法則性……………759
- § 2. 初等的確率論の公理と基本公式……………762
- § 3. 大数の法則と極限定理……………770
- § 4. 確率論の基本概念についての補足的な注意……………783
- § 5. 決定論的および確率論的過程……………791
- § 6. マルコフ型の確率過程……………798

第12章 関数の近似 (エヌ・エム・ニコリスキー)

- § 1. はじめに……………803
- § 2. 補間多項式……………808
- § 3. 定積分の近似……………816
- § 4. 最良近似についてのチェビシヨフの考え……………823
- § 5. 0にもっとも近い、チェビシヨフ多項式……………827
- § 6. ワイエルシュトラスの定理. 関数の最良
近似と微分可能性……………830
- § 7. フーリエ級数……………835

- § 8. 2乗平均の意味での近似……………844

第13章 近似計算と計算技術 (ヴェ・イ・クルイロフ)

- § 1. 近似法と数値計算法……………851
- § 2. 簡単な計算の補助手段……………871

第14章 電子計算機 (エス・ア・レーベデフ)

- § 1. 電子計算機の役割と基本的な機能……………887
- § 2. 電子計算機のプログラミングと
コーディング……………894
- § 3. 高速度計算機の機構……………910
- § 4. 電子計算機の将来の発達と利用……………926

第15章 実変数函数論 (エス・ベ・スチュチキン)

- § 1. はじめに……………937
- § 2. 集合……………939
- § 3. 実数……………949
- § 4. 点集合……………957
- § 5. 集合の測度……………967
- § 6. ルベーク積分……………974

第16章 線型代数 (デ・カ・ファッジャエフ)

- § 1. 線型代数の対象とその道具立て……………983
- § 2. 線型空間……………997
- § 3. 連立1次方程式……………1014
- § 4. 1次変換 (線型変換)……………1031
- § 5. 2次形式……………1044
- § 6. 行列函数と応用……………1053

索引